

総務常任委員会

五月十四日～十六日
(所管事項調査)

一 宮崎県庁
「クレジットカードによる公金収納について」

宮崎県では二〇〇七年五月からインターネットを活用した自動車税のクレジットカード収納事業を開始した。住民のニーズやライフスタイルに合わせた納税のクレジットカード収納は実際に利用した納税者から高い満足度と評価を得ただけでなく、期限内納付率を対前年比で12ポイント上昇させた。

二 宮崎県清武町

「行政評価(事務事業評価)について」
行政が行う事務事業について、行政自体の内部評価のみではなく客観的に評価・検証を行うことを目的に第三者評価機関として行政評価委員会を設立し、町民のニーズにあった事業展開を図るため行政評価を行っている。平成十九年度分は、補助金対象事業の十事業について答申した。

一 付託議案の審査
六月十七日



清武町役場にて

民生常任委員会

五月十四日～十六日
(所管事項調査)

一 愛知県高浜市
「地域包括支援センターについて」

市民サービスの窓口である福祉課、保健課、市民課、社会福祉協議会が駅前の再開発ビル二階の同じフロアに設置されている。斬新な建物で、総合窓口として、高齢者の保健・福祉に関する相談や介護保険関係の業務が上手く連携されており、中でも地域包括支援センターの運営については効果を上げている。

二 愛知県北名古屋市

「健康ドームについて」
民間と競合することなく公的施設として独自性を持たせた全国的にめずらしい施設。メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣予防、高齢者の筋力アップをはかることを目的に運動処方を取り入れた介護予防等など、行政が行う様々な健康づくり事業には、欠かせない多くの機能が備わっている。

一 付託議案の審査
六月十七日



高浜市役所にて

建設産業常任委員会

五月二十日～二十二日
(所管事項調査)

一 石川県輪島市
「観光交流拠点施設について」

中心市街地活性化と朝市を中心とした観光交流を促進するため、平成十五年七月にオープンした輪島工房長屋は、伝統産業である輪島塗の作業工房見学や、輪島塗体験が手軽にでき、歴史と伝統文化の継承と観光交流が同時にできる観光拠点施設として、まちづくりの一翼を担っている。

二 石川県羽咋市

「農村地域の活性化について」
羽咋市一・五次産業振興室は、市内「神子原(みこはら)地区」に重点を絞り活性化策を施すこととした。「神の子」という地名にちなみ、この地で採れた米をローマ法皇に献上するなど話題づくりにも成功した結果、「神子原米」は一俵四万二千円で取引されるほどのブランド米となり、全国的にも数少ない農村地域活性化成功例となっている。

一 付託議案の審査
六月十八日



神子原農産物直売所にて

文教常任委員会

五月十九日～二十一日
(所管事項調査)

一 大分県九重町
「幼保一体的運営特区について」

全国的に、少子化等を背景とした就学前の児童の減少及び家庭や地域における養育機能、教育力の低下が問題となっている。九重町では、新しい子育てや支援策のあり方を検討する中で、特区の申請を行い既存の枠を超えて、幼保の一体的な保育・教育を実施し、充実した子育てと多岐にわたる就学前教育の実施などを積極的に取り組んでいる。

二 大分県宇佐市

「安心院・院内地域連携型中高一貫教育校について」
安心院(あじむ)・院内地域連携型中高一貫教育校は、安心院・院内両地域の二つの市立中学校と、県立安心院高校の連携による相互乗り入れ授業等、六年間の長期的視野に立った教育実践を行い、さまざまな成果をあげている。

一 付託議案の審査
六月十八日



九重町役場にて

市議会を傍聴してみませんか

市議会本会議及び各委員会は、一般に公開しております。本庁舎及び各支所・出張所の大型ディスプレイや各地区公民館などの公共施設に備え付けられている開放端末(パソコン)において本会議生中継をご覧いただくことができます。また、市ホームページにて本会議の映像(録画)を配信しております。ぜひご覧ください。

お問い合わせ先 大田原市議会事務局 ☎23-8714